

2017 年度 小委員会活動成果報告

(2018 年 2 月 1 日作成)

小委員会名	強非線形問題の理論と応用小委員会		主 査 名：元結正次郎 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (応用力学運営委員会)		委員長名：塩原 等 主 査 名：高田豊文
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2018 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>建築構造における崩壊問題あるいは接触問題といった強い非線形性を有する問題に対して現在認知されている理論を整理するとともに、強非線形問題の範疇となる様々な実現象を解く場合の数値解法および解析モデルについて具体的事例を交えながら紹介する。また、理論上あるいは解法上未だ課題として残されている事項について問題提起していく。</p> <p>初年度：『応用力学シリーズ 13：建築構造における強非線形問題への数値解析による挑戦』について構造委員会での査読を受け最終原稿を作成する。また、これに関するシンポジウムを開催する。</p>		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：元結正次郎 (東京工業大学) 幹事：大塚貴弘 (名城大学)・熊谷知彦 (明治大学) 委員：荒木慶一 (京都大学)・磯崎浩 (日本建築センター)・小河利行 (東京工業大学名誉教授)・寒野善博 (東京大学)・多田元英 (大阪大学)・宮村倫司 (日本大学)・武藤厚 (名城大学)・森迫清貴 (京都工芸繊維大学)・長沼一洋 (日本大学)・三宅辰哉 (日本システム設計)・山下拓三 (防災科学技術研究所)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2017年度予算	110,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	1. 『応用力学シリーズ13：建築構造における強非線形問題への数値解析による挑戦』
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会承認企画	1. シンポジウム「建築構造における強非線形問題への数値解析による挑戦」 『同名資料』 参加者数 83名
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 計画通り昨年度までに纏めた『応用力学シリーズ13：建築構造における強非線形問題への数値解析による挑戦』の構造委員会査読への対応を行い、これを刊行した。また、2018年3月7日にシンポジウムを開催した。
委員会活動の問題点・課題	1. 特になし